

なんごく南支所管内より



歌や手遊び、絵本などが大好きな幸奈美ちゃんは、好奇心旺盛な女の子です。取材でも得意な歌を披露してくれるなど、愛嬌もたっぷり♪食欲もあり、元気いっぱい母の和世さんは「素直に元気に育ってほしい」と健やかな成長を願っています。

年齢も近くいとこ同士の2人は、休みの日など多くの時間を一緒に過ごしており、互いに刺激し合いながらすくすく成長しています。

元気ハイチーズ👏

(写真：右) 淡中 依都くん(3)

母：英梨香さん

(写真：左) 坂本 幸奈美ちゃん(1)

母：和世さん

2月に3歳になった依都くんは乗り物が大好き！最近はおもちゃ屋のチャリを持ち歩くのがブームで、新聞のように広げて「これこうちゃお！」などとやりとりも楽しんでいるそう。甘えん坊な一面もありますが、自分の想いがしっかりあり、母の英梨香さんは「ご飯をいっぱい食べて元気に育ってほしい」と話します。

安定経営で畜産業の活性化を目指す！

竹政 敬生さん(52)

JA高知県の子会社「株式会社 れいほく未来」で専務を務める竹政敬生さん。JAの畜産担当指導員として長年業務に携わってきた実績や豊富な知識が買われ、昨年7月に同社に出向しました。

土佐あかうしの増頭や雇用創出を目的に平成27年に本格的なスタートを切った同社の畜産事業。繁殖・肥育の一貫経営を行う同社では現在、繁殖牛と肥育牛合わせて約390頭の土佐あかうしを飼育しています。

れいほく支所管内より



「飼料の価格高騰など大変な時期であるが、耕畜連携や肉牛の安定供給に努めていきたい。そして、れいほく地域や高知県の畜産振興・活性化につなげていきたいね！」と敬生さん。培ってきた知識や経験を武器に関係機関と連携しながら畜産振興、安定経営を目指します。

土長 地区から こんにちは

大川出張所管内より



こんにちは!

女性部大川支部です

JA高知県女性部れいほく地区大川支部のみなさん

JA高知県女性部れいほく地区大川支部は、幅広い年代の部員27人で活動しています。健康教室や村民祭への出店、支部研修旅行などを通して部員間の交流を図っています。同部では、植樹した梅の管理を部員らで

行っており、毎年6月に収穫した梅の実は「梅漬け」として加工。イベントや大川村の「村のえぎ」などで販売しています。せん定も部員らで行っており、今年も部員総出で作業を行いました。

部員からも人気の研修旅行、今年度は香川県の小豆島へ✪ 寒霞溪や小豆島オリーブ園を訪れ、オリーブ栽培の歴史や栽培方法などを学びました。楽しみにしていた寒霞溪の紅葉は見られませんでした。豊かな自然や特産品を堪能し、今後の活動への弾みをつける研修になりました。

なんごく北支所管内より



ご来店お待ちしております!

(後列) 山本 好子さん、池田 紗知羽ちゃん

上森 美枝子さん、西森 笑さん

石本 志津さん、植野 永子さん

(前列) 池田 紗友美さん・龍くん

別役 朋子さん、植野 新くん

中村 雅斗くん、植野 葵くん、中村 真穂さん

JA高知県女性部長岡地区の皆さんが毎月1日に開いている「嫁ついたらサロン」。地域の高齢者が気軽に足を運べる憩いの場を提供したいという想いから、平成30年11月にオープンしました。コロナ禍で約3年営業を休止し令和5年6月に再開して以降、口コミで人気ที่ 広がり、毎月多くの利用客が訪れています。1日が休日の日には、部員の孫や子どもたちも手伝いをするなど、にぎやかな声が響いています♪

毎月のメニューは野菜を中心に、季節の旬のものを取り入れており、ボリューム満点！利用客からも好評です。同部の植野永子部長は「今後も近隣の方はもちろん、地域内外の方に利用してもらえるように仲間と意見を出し合いながら楽しく営業していきたい」と意気込みます。



Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



パプリカを収穫する吉田統括部長

1 南国市地域

パプリカ収穫開始！
年間150t 目指す



J A高知県が出資する農業生産法人(株)南国スタイルが運営する次世代型園芸ハウスで10月下旬からパプリカの収穫が始まっています。今作は昨年9月上旬に2万1000本を定植しました。定植後の猛暑や天候不順などにより年内収量は減少しましたが、年明けから徐々に収量も回復。品質などは例年並みで、年間収量150t(10アール当たり23t)を目指します。

ハウスが建つ南国市は、日照量が多く必要とするパプリカの栽培に適しており、同法人では、赤、黄、オレンジの3色を栽培しています。面積70アール、軒高5.5メートルのハウスには環境制御技術を備え、温度や湿度などをコンピューターで管理。栽培には、電解水素水を使い、野菜の持つ機能性を高める実証実験などを進めながら、ハイワイヤー誘引法を用いた養液栽培で高品質・高収量に努めます。

同法人の吉田文明統括部長は「今作も計画収量の達成を目指し取り組んでいきたい」と意気込みます。収穫作業は7月下旬まで続きます。

2 れいほく地区

フラワーアレンジメントに挑戦



クイズや生け花を楽しんだ花育授業

J A高知県れいほく花き部会は11月29日、土佐町の土佐町小学校で花育授業を行いました。部員4人と普及所やJ A職員らが参加し、同校の3年生30人を対象にクイズやフラワーアレンジメント体験教室で交流を深めました。

授業では、部員らが考えた花きの種類など花にまつわるクイズの他、同部の澤田みどりさんを講師に生け花を体験。部員らが栽培しているトルコギキョウや、世界で唯一れいほく地区のみ栽培されているユリ「ブルーアイカ」などの4品種を使っている生け花を楽しみました。児童らは、部員らにアドバイスをもらいながら完成させ、「花のクイズなど勉強になった」と話しました。出来上がった作品は、各自が持ち帰り飾って楽しんでます。

同部の畠山祐樹部会長は「クイズに全問正解する子など、花の知識をもった生徒が多いと感じた。地域で栽培されている花に興味を持ってもらえるように、今後も積極的に花育授業を行っていきたい」と話しました。

3 土長地区

熱戦を繰り広げた
ゴルフ大会



白熱したプレーを繰り広げたゴルフ大会

J A高知県土長地区の年友友の会は12月4日、Kochi黒潮カントリークラブで「土長地区杯年友友の会ゴルフ大会」を開きました。同大会は、会員同士の親睦と健康増進を目的に開かれている人気のイベント。今年度は会員ら50人が熱戦を繰り広げ、参加者は仲間とコミュニケーションを取りながら、和気あいあいとプレーを楽しんでいました。

同J A信用共済部の宮崎真由美部長は「今後も会員の皆さんに楽しんでもらえるようなイベントを企画していきたい」と話しました。本大会で上位入賞を果たした組は3月に開かれる県大会へ出場します。

4 南国市地域

新体制で始動！
消費地会議で意見交わす



有利販売に向けて意見を交わした消費地会議

J A高知県南国市園芸部は12月5、6、7日の3日間、消費地会議を関西・関東の2カ所で開きました。役員改選により新体制発足後初となる会議には、役員と各品目部会の代表、J A役員らが参加。消費地、生産地それぞれの情勢を共有し、意見交換を行いました。

会議では、京阪神6社、京浜7社の担当者へ、市場の動向を踏まえた販売対策などについて協議。猛暑や天候不順の影響で栽培管理が難しくなった産地の実情を伝えながら販売要請を行いました。令和7年度も市場と産地が一体となり、販売強化につなげていくことを申し合わせました。

5 れいほく地区

元気に営業中～



多くの来店客でにぎわったランチ会

J A高知県女性部れいほく地区で活動する目的別グループ「牛のうどん屋さん」は12月20日、土佐町相川の牛のうどん屋さんカフェでランチ会を開きました。

メンバーは、エビフライや鶏むね肉の青のり天など9品のボリューム満点ランチプレートを提供。来店客からも「料理の味付けなどが参考になった」と好評で、持ち帰りも含めて147食を振る舞いました。

グループの川井由紀代表は「毎回多くの方に足を運んでいただきありがたい。今後も皆さんに喜んでもらえるおいしい食事を提供できるようにメンバーと頑張っていきたい」と話しました。

6 南国市地域

新鮮野菜で
選手を応援！！



晴れ舞台での活躍を願って開かれた贈呈式

J A高知県土長地区と香美地区は12月9日、全国高等学校駅伝競走大会に県代表として出場する県立高知農業高校男子陸上競技部と県立山田高校女子駅伝部に管内で生産された特産品などを贈りました。

地域に根ざした協同組合として地元食で選手にエールを送ろうと毎年行っているもので、今年も管内で生産された米やシントウ、葉ニンニクなどの農産物14点と、同J Aの子会社「天然の湯なごか温泉」の入浴券を贈呈しました。

両校は12月22日に京都市で開かれた大会に出場。家族や仲間、地域、関係者への感謝の気持ちを胸に都大路を駆け抜けました。

えいのう〜

れいほく地域より

■ 土長営農経済センター れいほく営農販売課 0887-82-2803

果菜類の定植前後の管理について

定植前後の管理は、その後の生育を左右するので、ポイントをしっかりと覚えて管理しましょう。定植後は、ハウス内の温度を確認し、日中は25～28℃を最高温度の目安に、夜間はナス類は12℃、シトウ・ピーマン類は18℃を最低温度の目安に管理しましょう。

◆ほ場準備

定植の1カ月前には、堆肥や苦土石灰を施用し耕うんします。10日前までに元肥を施用し、畝立て整地を行います。2～3日前までに植え穴を掘り、十分にかん水しておきましょう。

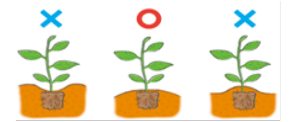
ポイント：慣行の施用量は、堆肥200kg/a、苦土石灰20kg/a、有機666ペレット（6-6-6）30kg/aですが、施用前には必ず土壌分析を行い、結果をもとに適正な施肥を心掛けましょう。また、定植前のかん水を畝の芯までしっかり湿らせるように行うことで、畝全体への良い根張りにつながります。

◆定植

苗の定植日は、なるべく風のない晴れた日を選びます。植え穴に苗を置き、土をかぶせたら軽く押さえます。

ポイント：根鉢が畝よりやや高くなるよう、浅めに植えましょう。

深植えすると株元に水が溜まりやすくなり、病気の発症につながります。



◆かん水管理

発根を促進するため、活着（わき芽が伸びてくる状態）までは、手かん水を行います。また、かん水は午前中に行い、生育状況、天候に応じてかん水量やかん水間隔を調整します。

ポイント：株元を痛めると活着不良を起こすので、活着するまでは、水圧を弱め鉢土の周りにかん水するようにしましょう。



◆整枝・誘引

支柱立ては、苗を傷めないよう定植前に行います。苗が風で倒れないよう仮支柱を立て、苗と仮支柱をひもで八の字にゆるくかけておきます。

定植後、木づくりのため1番花は除去しましょう。また、第1分枝下のわき芽は、天候を見計らって晴天日に早めに除去します。活着後は、主枝を決め、誘引ひもに絡ませて主枝が垂れ下がらないようにします。

GAP 掲示板 vol.53 れいほく地域

資材の在庫管理について

資材倉庫内は、どの資材がどこにあるのか、すぐに見つけられるように整理整頓しましょう。

資材の在庫管理を行う事で、不要な資材の購入を抑え経費削減にもつながります。

また、不要な資材（廃棄フィルム資材・期限切れの農薬等）はJAの回収日に処分しましょう。



早生水稲苗の管理と本田における水田除草剤の効果的な使い方

南国市地域より

■ 土長営農経済センター 南国営農指導課

088186312415

①早生水稲苗の管理

◆温度管理

春は日ごとに日射量も増加し、晴天日ほど温度の変化が激しくなりがちです。一方で外気温はまだ低いことが多いので、こまめな換気管理を心掛け温度低下に注意しましょう。特に寒い夜には保温をわすれないように気をつけましょう。

・本葉15葉までは、日中20～25℃、夜間10～15℃で管理し、第1葉鞘長が伸びすぎないように注意する。

・本葉15葉～田植までは日中が25℃以上、夜間が10℃以下にならないよう管理し、通風採光は十分に行う。

・田植え1週間前には徐々に外気にさらし、順化を行う。

◆かん水

苗の生育に伴い蒸散量が増えて乾燥しやすくなるので水切れさせないように注意しましょう。

◆育苗日数

緑化開始から20～25日程度を目安とするが、根張りが良くなければ根張りが確保できるまで移植を遅らせます。

②本田における水田除草剤の使い方

水田除草剤は使い方やほ場環境によって効果に大きな差が現れ、場合によっては薬害を生じることもあります。正しい使用方法を守り、散布した除草剤の効果を十分に発揮させましょう。

◆田植え前に田面を均平にする

除草剤散布時に、田面に高低差があると拡散ムラを生じ、深水の場合は薬害、浅水の場合は効果不足の原因となりますので、代かき等の作業時に田面の高低差をなくします。

◆除草剤の選定

除草剤も使用する成分によって得意とする雑草が異なります。多くの雑草を一度に防除できる除草剤であっても、それだけに頼っていると抵抗性を示す雑草が増えてきます。したがって、雑草の種類に応じた選定が重要となります。

◆散布前の注意点

苗の補植は除草剤を使用する前に早めに済ませます。また軟弱苗や、田植え後活着不良の場合は、薬害の可能性があるので使用時期の範囲内で散布を遅らせます。

◆散布時の水深管理

水深は、購入した薬剤のラベルを確認して、散布前までに調整し、止水状態にします。
(水深の目安) 粒剤3～4cm・フロアブル剤4～5cm・ジャンボ（ハック）剤5～6cm

粒剤は水に溶け、フロアブル剤は水中を拡散、ジャンボ剤は水面・または水中を拡散します。このため、水管理は非常に重要です。

◆散布時の注意点

近年、水田除草剤のドリフトによる薬害事故が毎年発生しています。使用の際は、周りの環境に十分配慮し、晴天の日に散布します。雨天や風のある日は田水面が安定せず、除草剤の効果が発揮されない可能性があるため散布を控えます。また、ほ場全体に薬剤が拡散するよう均等に散布しましょう。

◆散布後の管理

3～4日間は水の出入りを止め、田の水を流出しないようにし、7日間程度は掛け流しや落水を控えます。水田除草剤は、散布後24時間位で薬剤濃度がピークとなり、その後土壌に吸着、処理層（土表面に膜を張る）を作り効果を発揮します。このため、散布後の水管理も大変重要なものとなります。

◆除草剤散布後、雑草が再び発生した場合

初期の除草剤を散布しても水管理が難しいほ場や、例年難防除雑草が多発生するほ場では、十分な効果を得られない場合があります。後に雑草が発生する場合があります。そのような場合は、早期に雑草の種類を確認し、効果の見込める中・後期剤を登録の範囲内で使用しましょう。

※使用農薬については、営農指導課または資材店舗にご相談ください。



南国営農経済センター 営農指導課 近澤慶哉

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

毎回子どもと拝読し、野菜の知識を身につけています。食育にもつながると思い、毎回楽しみにしています。

(なんごく南支所・44歳)

▼毎号ありがとうございます。県内ではどんな野菜をどんな人が育てているのかなど、農業に興味を持ってもらえると嬉しいです♡今後も「こうぐり」を通して、各地域で栽培されている農作物や取り組みを中心に、高知の魅力を発信していきます☺️これからも親子で楽しみながら見てください★

地方で農業をしている者として集出荷場までの道のりも大変重要。近くにあると大変ありがたいです。他の農業者の方などの情報交換の場として交流を深める場にもなっています。12月号も興味深い情報をありがとうございました。参考にさせていただきます。

(れいほく支所・41歳)

▼安定した集出荷体制の確保に向けて取り組んでいる「集出荷場再編構想」。施設の老朽化や労働力不足など、抱える課題も地域によってさまざま。JAでは、今後も時代の変化に応じた集出荷場のあり方を検討し、将来にわたって出荷し続けることができる仕組みづくりに取り組んでいきます。

寒くなってきました！鍋やおでんを楽しみたいと思います。令和7年もいいことがありますように。

(岡豊出張所・49歳)

▼年明けから早くも2カ月が経ちましたね。寒いと恋しくなるのが、鍋やおでん！寒い季節にぴったりの食べ物ですね！最近は変わり種の鍋スープも多いので、何鍋にしようか、シメはどうしようか、と考えるのも楽しみのひとつ！皆さんにとって令和7年が笑顔いっぱい素敵な1年になりますように！◆

ゴルフの行き帰りに通る道にあるので「塩メロンパフェ」食べてみます！

(十市出張所・53歳)

▼「プリンセスニーナ」の出荷がある時だけ味わえる「塩メロンパフェ」、おいしそうですね♡甘いメロンにミネラル豊富な天日塩がアクセントになっていて、見た目も華やか♪個人的には「塩メロンピザ」が気になっています!!

「うちんくの台所」のレシピを見て参考にさせてもらっています。

(おおとよ支所・58歳)

▼「うちんくの台所」は生産者や女性部ならではのアイデアレシピが人気で、多くの方から「参考にしています」など嬉しいお言葉をいただいています。今月号は、安芸地区の女性部さんのレシピを紹介しています。過去に誌面で掲載したレシピはJA高知県のHPにもアップしているので、こちらもチェックしてみてください♪

県下の取り組みや活動状況のコンテンツが多くてとてもいいですね。私も農業をしているので「頑張ろうー!」と思えます。

(本山出張所・68歳)

▼今月号の特集では、香美地区の「夜須のフルーツトマト」と仁淀川地区の「シュガートマト」の2種類のブランドトマトを紹介しました。いかがだったでしょうか☺️? 2月に入り冬本番! まだまだ寒い日が続きますが、風邪など引かないように暖かくして過ごしましょう☺️

田村堰井筋関係水系の春期水止め

水路の維持管理・補修作業のため、次の期間、物部川統合堰系統の各土地改良区（田村堰井筋、物部堰井筋、久枝）の水止めを実施します。大変ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。

期 間 令和7年3月3日（月）8時 止水
令和7年3月9日（日）17時 通水
*物部川合同堰系統の各土地改良区を止水・通水する時間です。
*天候又は作業の都合等により、期間を延長することがあります。ご了承ください。

問い合わせ先 物部川（連）土地改良区
(TEL : 0887-55-2216)

山田堰井筋土地改良区全水系の水止め

水路の維持管理・補修作業のため、次の期間、山田堰井筋土地改良区全水系水路の水止めを実施します。大変ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。

期 間 令和7年3月1日（土）8時 止水
令和7年3月9日（日）17時 通水
*物部川合同堰（香美市土佐山田町神母ノ木）を止水・通水する時間です。
*天候又は作業の都合等により、期間を延長することがあります。ご了承ください。

問い合わせ先 山田堰井筋土地改良区
(TEL : 0887-52-2311)